

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	ソーシャルワークの理論と方法(専門)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	5校舎10階
担当教員	耕野 登	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を理解する。 ②精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人との家族の関係を理解し、家族への支援方法を理解する。 ③精神医療、精神障害者福祉における多職種連携、多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。 ④精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入、組織活動の展開に関する概念と方法について理解する。 ⑤個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をミクロ・メゾ・マクロの連続性、重層性を踏まえて理解する。 ⑥精神保健福祉分野以外における精神保健福祉士の実践展開を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10% *授業内でミニレポートも実施する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジメ配布 参考図書:ソーシャルワークの理論と方法 精神専門(中央法規出版)						
《授業外における学習方法》						
1. あなたの経験や考え持てるように日常における観察をする。 2. あなた自身が生活している場所を土台にして考えてみる						
《履修に当たっての留意点》						
本科目は、精神保健福祉士受験資格取得の指定科目である。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	ソーシャルワークの構成要素について説明できるようになる。		レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる	
	各コマにおける授業予定	原理、理念、視点、知識、技術				
第2回	授業を通じての到達目標	ソーシャルワークの展開過程について説明できるようになる。		レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる	
	各コマにおける授業予定	ケースの発見、インテーク、アセスメント、プランニング、支援の実施、モニタリング、支援の終結と事後評価、アフターケア、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおける展開				
第3回	授業を通じての到達目標	精神保健福祉分野のソーシャルワークの基本的視点について説明できるようになる。		レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる	
	各コマにおける授業予定	人と環境の相互作用、精神障害および精神保健の課題を有する人とその家族の置かれている状況、精神疾患、精神障害の特性を踏まえたソーシャルワークの留意点				
第4回	授業を通じての到達目標	アウトリーチについて説明できるようになる。		レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる	
	各コマにおける授業予定	必要な支援にアクセスできない当事者及び家族へのアプローチ、支援を求めない当事者層へのアプローチ、多問題を含む家族へのアプローチ、社会的孤立とセルフネグレクトへのアプローチ				
第5回	授業を通じての到達目標	インテークについて説明できるようになる。		レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる	
	各コマにおける授業予定	主訴の把握、スクリーニング、契約				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	アセスメントについて説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	上方から情報分析、解釈へ、人と環境の相互作用から捉えた問題の特性、本人に関する理解、環境に関する理解、アセスメントルール		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	援助関係の形成技法について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	バイステイックの援助関係を形成する技法、自己決定、意思決定、協働、心理的防衛機制、転移と逆転移、バウンダリー、自己覚知		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	面接技術とその応用について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	面接の構造、面接技法、生活場面面接、動機づけ面接		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	支援の展開について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	エコロジカルアプローチ、エンパワメントアプローチ、事例分析		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	支援の展開について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	ケアマネジメントのプロセス、実際		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者家族の課題について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉法と家族、介護家族という社会的役割、精神障害に関連したケアラーのニーズ、ケアラー・ヤングケアラー支援		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族理解の変遷について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	家族病因論、家族ストレス対処理論、家族システム論、家族の感情表出研究、ジャクソン7段階説		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族支援の方法について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	家族相談面接、家族療法的アプローチ、家族関係における暴力への介入、家族のリカバリー、家族のセルフヘルプグループ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携の意義と目的について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	インターネットで関連記事を1つみつけておく
		各コマにおける授業予定	連携に関わる概念整理、ニーズの多様化、複合化、医療の機能分化、障害福祉サービスの事業化、包括的地域生活支援		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携・多機関連携の留意点について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	インターネットで関連記事を1つみつけておく
		各コマにおける授業予定	当事者中心、当事者参加の原則、目標の共有、情報共有とプライバシー保護、他職種・他機関の専門性の理解と尊重、役割と責任の明確化		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	2年生	学期及び曜時間	後期	教室名	5校舎10階
担当教員	耕野 登	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

- ①精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を理解する。
- ②精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人との家族の関係を理解し、家族への支援方法を理解する。
- ③精神医療、精神障害者福祉における多職種連携、多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。
- ④精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入、組織活動の展開に関する概念と方法について理解する。
- ⑤個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をミクロ・メゾ・マクロの連続性、重層性を踏まえて理解する。
- ⑥精神保健福祉分野以外における精神保健福祉士の実践展開を理解する。

《成績評価の方法と基準》

試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10%
*授業内でミニレポートも実施する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

レジメ配布
参考図書:ソーシャルワークの理論と方法 精神専門(中央法規出版)

《授業外における学習方法》

1. あなたの経験や考え持てるように日常における観察をする。
2. あなた自身が生活している場所を土台にして考えてみる

《履修に当たっての留意点》

本科目は、精神保健福祉士受験資格取得の指定科目である。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回 講義形式	授業を通じての到達目標	チームビルディングについて説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	リーダーシップ、メンバーシップ、ファシリテーション、パワーゲーム		
第17回 講義形式	授業を通じての到達目標	チームの形態と特徴について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	マルチディシプリナリチーム、インターディシプリナリチーム、トランスディシプリナリチーム		
第18回 講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携における精神保健福祉士の役割について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	多職種連携と精神保健福祉士の役割		
第19回 講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携、多機関連携の実際について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	連携の実際の事例分析		
第20回 講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルアドミニストレーションの概念とその意義について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	ソーシャルアドミニストレーション		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	組織と精神保健福祉士の関係性について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	組織経営とソーシャルワーク、専門職と被雇用者(二重のロイヤリティ)		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	組織介入、組織改善の実践モデルについて説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	生活モデルにおける組織介入技法、準備段階、組織分析、導入の技法、関与の技法、実施と制度化		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	組織運営管理の実際について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	事業計画の策定と実施マネジメント、サービス評価、環境整備、資源調達、人材確保と人材育成		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健福祉分野におけるコミュニティワークの意義について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	地域生活支援、ソーシャルインクルージョン、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域における精神保健福祉の向上について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉に関する普及啓発、地域住民の精神保健福祉活動への参画、予防的アプローチ		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	個別支援からソーシャルアクションへの展開をふまえた基本的視点について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	当事者ニーズを軸とした展開、包括的アプローチ、マイクロ・メゾ・マクロの連続性と展開方法		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	個別支援から地域における体制整備について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	個別支援会議、地域における協議会、地域課題の発見、共有、地域におけるネットワークの構築、地域における社会資源の開発・改善、地域住民への啓発と住民参加		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	政策提言、政策展開について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	国及び広域圏において共通する課題の抽出・分析、職能団体、関係団体間での課題の共有とエビデンスの集積、法制度上の課題の解決にむけたアクションプランと実施、改善・創設された法制度の活用と評価		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者の地域移行、地域定着に関わる展開について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	インターネットで関連記事を1つみつけておく
		各コマにおける授業予定	精神障害者の地域移行、地域定着		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	関連分野における精神保健福祉士の実践展開について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	インターネットで関連記事を1つみつけておく
		各コマにおける授業予定	学校、教育分野、産業分野、司法分野、その他 ここまでの振り返りと総まとめ		